

2021年度事業報告

事業概要

2020年1月から感染の始まった「新型コロナウイルス感染症」は、2021年度になっても、収まることなく広がり、2度目の緊急事態宣言が出されたことで、8月後半の休業、9月1か月間の時短営業（13時～17時）となりました。営業日数および来客数の減少は、ショップの営業に大きく影響し、売上目標を達成することはできませんでした。それでも経産省の月次支援金、神奈川県の中企業等支援給付金、雇用調整助成金により、年度末は少額の赤字に抑えることができました。

コロナの影響を大きく受けながらも、少人数でのショップ運営、寄付品の制限（10点以内）などの工夫をしてショップの営業を行い、秋には、常設の着物に加えて着物フェアも行い、12月には支援先 ACE の報告会をオンラインで、開催することができました。

今年はコロナ下での工夫として特にメッセージ強化に力を入れ、WE ショップつづきの公式 LINE の開設、インスタグラムでの情報配信を始めました。

コロナの影響を受けた1年でしたが、お客様からは、「ホッと一息つける空間」として WE ショップの価値を認識してもらうことができました。

課題としていたショップの移転については、売上の減少から、検討することができませんでした。

事業報告

1. 資源のリユースリサイクルを推進する事業

2021年度リユースリサイクル売上 4,160,595 円（目標比 83%、前年比 118%）

2021年度ショップボランティア 新規登録 5名

2021年度は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、約1か月の休業及び3か月間の時短営業を行いました。昨年度に引き続きボランティア活動を縮小、最少人数でのショップ運営を行わざるを得ませんでした。感染対策を徹底し売上の柱である年3回のセール及び着物フェアを開催することができました。

※月ごとの詳細は2021年度活動実績を参照

実績	売り上げ	顧客数	ボランティア延べ（実人数）	寄付者（新規）
2021年度	4,160,595 円	5,399 人	377 人（16 人）	1637 人（84）
2020年度	3,534,722 円	4,893 人	319 人（17 人）	1312 人（47）
前年比	118%	110%	118%（112%）	125%（179%）
2019年度	5,339,913 円	6,797 人	753 人（19 人）	1853 人（88）

- 1) 新型コロナウイルス感染症の影響により8月に約3週間の休業、9月及び1月～3月の3か月間は時短営業を行いました。年間計画に沿って活動することができました。年3回のセール及び着物フェアは十分な換気を行い来店制限を実施したうえで開催しました。6月には雨の日ラッキーくじを企画し、雨の日にも来店していただくきっかけづくりをおこない、お客様にも好評を

得ました。

- 2) 季節感のある売り場づくりや目先の変わる陳列を行い、お客様に楽しんでお買い物をしていたできるように工夫しました。毎月1日、15日に何かがお得になる「わくわくデー」は定着し、毎回楽しみにしているお客様が多く来店されています。
- 3) 着物の常設コーナーは、毎月10日と20日に入れ替えし、楽しみにしてくださる方が増えました。しかし、展示期間が短いので、今年度は、11月に2年ぶりの着物フェアを開催、更に2月に着物のお買い得市を企画しました。
- 4) Facebook やインスタグラムをショップの情報発信に役立てました。売り場の様子や目立たせたい商品などの写真をアップし、集客につなげました。また、公式ラインを開設、お友達登録していただくよう呼びかけ、ショップからのお知らせを直接お客様に届けられるようになりました。
- 5) 若い顧客の獲得を目指して企画している「お下がり交換会」は3年目となり、タウンニュース、ロコっちなどのメディアに取り上げられお客様に定着しつつあります。大きいサイズの子供服を集めるなどの努力をし、多くの子育て世代に大変好評をいただきました。
- 6) 今年度も新型コロナウイルス感染症の影響を受け、緊急事態宣言、まんえん防止等重点措置が出されている間はボランティア活動の制限を行いました。しかし、連携する地域施設からの紹介やボランティア活動に関心のある方からの申し出、ショップでの声かけにより、5名の方を新しいボランティアとしてお迎えすることができました。感染状況が落ち着いている期間にはチラシやニュース、HPなどでボランティア募集の呼びかけを行いました。
- 7) 9月にお客様にアンケートを行い、ショップの利用状況、感じていること、要望などをうかがいました(21人から回答)。よいものがお得に買えることにメリットを感じ、スタッフやお客様同士のコミュニケーションに楽しみを見出していることなどがわかり、今後のショップ運営に生かしていきたいと考えています。
- 8) リメイクチーム
リメイクチームの開催は、コロナの影響で7回となりましたが、自宅で作品を作るなどして持ち寄り、110,650円の売上となりました。(昨年度比176%)今年度は、洋服の作成を増やし、売上増を図りました。
11月に生協の広報誌「のんびる」の取材を受け、リメイクする思いを伝えることができました。
- 9) 資源の有効利用
整理整頓を心がけ、衣類は季節ごと、雑貨は品目ごとにまとめて管理し寄付品が有効活用されるように工夫しています。従来の「衣類・雑貨」というくくりを越え、テーマを設定し商品に付加価値を

つけて販売しました。Facebook やInstagramを使い、広く商品情報を知らせることともに、見切り品を格安で販売し、廃棄を減らす努力をしました。

ショップという拠点を生かし、羽毛布団の回収を行い、WE ショップが資源の有効活用に取り組んでいることをアピールしました。WE 21 ジャパングループの一員として、家庭での使用済み食用油の回収に取り組み、「WE 油田つづき」を継続しました。

本年度も故繊維業者「ナカノ」を通じて衣類のリサイクルに努め、同社が開発したエコ手袋を販売しました。

■羽毛回収 27.7kg(1kg以上20枚、1kg未満5枚、ダウンジャケット 22枚)
(Co₂削減量 48.7kg) 前年比 38%

■廃食油回収 230kg (CO₂ 削減量598kg) (前年比 121%)

リサイクル提携先

古 布 : ナカノ(株) 横浜市金沢区福浦2丁目 8-8

廃食油 : (株)ユーズ 東京都墨田区八広 3-39-5

羽毛布団 : (一社)グリーンダウンプロジェクト 東京都北区田端 6-4-22

【日時】 通年

【場所】 横浜市都筑区

【従事者】 運営委員5名 ボランティア月平均 37 名

【受益対象者】 一般市民

【事業支出額】 4,448,337 円

2. アジア等における市民、とりわけ女性の生活向上と自立のための活動を支援する事業 (民際支援事業)

1) 民際支援事業

①ACE「ピース・インド・プロジェクト」

店頭に募金箱を設置して、年間募金を呼びかけました。また組織として、2021 年度末の剰余金の中から、支援を決定しました。

助成団体：特定非営利活動法人 ACE

現地 NGO：SEED (Society for people's Economic&Educational Development)

事業名：ピース・インド・プロジェクト

助成金額：100,000 円

②イラク・シリア支援 チョコ募金

店頭にてチョコレート置き、募金を集めました。イラクの小児がんの支援、シリア難民支援、新たに建設された JIM-NET ハウスの運営、福島の子どもたちの支援に使われました。

募金先：特定非営利活動法人 日本イラク医療支援ネットワーク（JIM-NET）
 事業名：イラクの小児がんの医療支援・シリア難民医療支援・福島の子ども支援
 募金額：118,256円

③「Team Beco」のシリア支援になる年賀状の販売

シリアの子どもたちへの支援として、「Team Beco」と多摩大学の学生とのコラボ企画である、湘南・鎌倉セットの年賀状を購入し、ショップで販売しました。年賀状の益は経費を除いて全額シリアの子どもたちへ届けました。

寄付金額：2,380円

④ウクライナ緊急募金

2月からのロシアによるウクライナへの軍事侵攻に反対するアピール文の掲示と、緊急募金を店頭で実施しました。

⑤フードドライブ

2021年4月より、毎月1日～10日と期間を決めて、フードドライブを実施し、店頭にて、食料を集めました。(362点、99.836kg)

4月、5月は、公益社団法人 フードバンクかながわに寄贈しました。6月からは、青葉区で、フードシェアを実施している、「フードシェア*いちがお」に、2022年3月は都筑区内の「フードシェア*つづき」に寄贈先を変更し、より身近なところで必要としている人に、集めた食品が届けられるようになりました。

12月からは、食品に加えて、生理用品の寄付受付も開始しました。毎月、市民からの寄付があり、関心も高く、また分け合いに来る方に、大変喜ばれていることがわかりました。

「フードシェア*つづき」は、都筑区内でおおまる食堂を中心に、フードシェアをしており、つづき相談窓口の団体が、協力しています。今後、WEショップに集まった食品、生理用品の寄贈先としていくこととしました。

寄付先：公益社団法人 フードバンクかながわ
 フードシェア*いちがお
 フードシェア*つづき

助成金および募金の総額

	寄付金・助成金	募金
ピースインドプロジェクト	92,907円	7,093円
JIM-NET チョコ募金		118,256円
「Team Beco」のシリア支援になる年賀状		2,380円
合計	92,907円	127,729円

2) 民際収益事業

①パレスチナオリーブオイル・オリーブ石けんの販売（常設）

イスラエル・パレスチナの平和のために設立されたオリーブオイル生産団体のガリラヤのシンディアナのオリーブオイル（2018年日本オリーブオイルソムリエ協会銀賞受賞）とパレスチナ西岸地域のナーブルスで生産されたオリーブ石けんを、店内で販売しました。

②森育ちのしょうがパウダー販売（常設）

フィリピンの北ルソンの山岳地域の3つの村の生産者組織が、収入向上と保健事業のために生産するジンジャーティ（しょうが糖）をWE21グループで計画購入し、店内で販売しました。

③森育ちのしょうがクッキー

森育ちのしょうがパウダーを原料とし、横浜市内の社会福祉法人が製造したクッキーを、店内で販売しました。

④シサムコーヒー（常設）

コーヒーの森事業で収穫できたフィリピン北ルソンのオーガニック栽培のコーヒーを店内で販売しました。

⑤タオル販売（福島オーガニックコットン）（常設）

店内で販売しました。

製品	支援団体	仕入額	販売数
オリーブ石鹸等オリーブ製品	合同会社パレスチナ・オリーブ	41,276 円	オリーブ石鹸 8 オリーブオイル大 10 オリーブオイル小 14
森育ちのしょうがパウダー	ウバパス/ダイコン/ランパダ/シュントック財団	18,520 円	19
森育ちのしょうがクッキー	社会福祉法人夢 21 福祉会まどか工房	10,704 円	48
シサムコーヒー	シサム工房	19,388 円	27
福島オーガニックコットンタオル		0	1
合計		89,888 円	

【日時】 通年

【場所】 都筑区

【従事者】 運営委員 5 名

【受益対象者】 神奈川の市民、アジア等（インド・フィリピン・イラク・シリア・パレスチナ）の市民

【事業支出額】 308,471 円

3. 地域市民の国際的な意識の自覚を促進する事業（共育活動）

1) WE 講座 ACE 報告会をオンラインで実施しました。(12月11日)

初めてのオンライン開催、そして同時にショップでも視聴する、という形で行い、オンライン19人、ショップ視聴8人、計27人の参加が得られ、支援先の活動を報告することができました。

講座の広報として、チラシを作成してお客様や会員等に参加を呼びかけ、タウンニュース、朝日新聞へアピールした結果、掲載してもらうことができました。

オンラインにしたことで、会員以外の参加もあり、広く児童労働の現状を知ってもらい、同時に、私たち消費者としてできることを共有でき、有意義な報告会となりました。

2) 都筑区民活動センター主催の「初めてのSDGs」都筑で始める持続可能なMY LIFE～リユースの先にあるもの」に岸委員が講師として参加しました。(10月12日)

WE ショップの紹介と、SDGsへの貢献を紹介するとともに、児童労働の現状や、私たちの衣類との関連について、アピールし、好評を得ました。

3) フェアトレード・フェアを実施しました。(10月11日～10月23日)

身近なコットンをテーマに、児童労働のない、そして環境にもやさしいコットン製品を手に入れるための、表示(認証マーク)の紹介をしました。運営委員お薦めのオーガニックコットン製品を掲示しました。

同時に、「WE ショップつづきが勧めるエシカルな暮らし2021」を書いた Thank You Dard をお客様に手渡しして、暮らしを見つめることの提案をしました。

4) 明治学院大学3年生インターンを受け入れました。(8月17日)

WE21 ジャパンからの依頼で、ショップの実務体験の予定でしたが、コロナの為に ZOOM でショップのリユース、リサイクル、フェアトレード事業の紹介をしました。詳しいインターン報告をしてもらえ、その内容は Facebook に掲載しました。

5) WE21 ジャパンと、韓国慶南地域交流事業 『リユース・リサイクル環境事業での交流』において、WE21 ジャパン都筑の羽毛製品回収の報告をしました。(9月17日)

6) 3. 11 福島を忘れないとの思いから、横浜北部エリアの WE 2 1 ジャパングループ共催で映画「希望へのいのち～吉沢正巳」上映と講演会企画を開催しました。(3月26日)

7) つづき人交流フェスタ(都筑区主催)に参加しました。(3月22日(火)～3月27日(日))

動画と、パネル展示、ボランティア体験を通じて、リサイクルと民際支援を紹介しました。

【場所】都筑区

【従事者】運営委員5名

【受益対象者】一般市民

【事業支出額】9,218円

4. 法人の事業の広報普及を図る事業（広報活動）

1) WE21 ジャパン都筑ニュースを3回(春、秋、冬)発行し、2020年度の支援先一覧、フェアトレード・フェアの案内、ACE報告会の報告、チョコ募金のお知らせ等をしました。冬号は、支援先 ACE 報告

会の報告を載せるため、例年より発行を遅らせ、1月発行としました。

ニュースおよびチラシ作成

	部数	内容	配布
4月	4000	支援先決定、アニバーサリーセールのお知らせ	ボランティアによる地域配布
9月	600	フェアトレード・フェア、子ども服おさがり交換会、着物フェア、SDGs 講座	協力者、ショップ内配布、配架
11月	200	「児童労働をなくしたい」ACE 報告会	協力者へ郵送とショップ内配布
1月	300	ACE 報告会、チョコ募金、生理用品寄付受付のお知らせ	協力者へ郵送とショップ内配布

2) 若年層を含めた新規顧客獲得のため、WE ショップつづき公式 LINE を開始し、お客様に友だち登録を呼びかけ、ショップからのお知らせをタイムリーに届け、来店を促しました。HP、Facebook、Google マイビジネスに加えて、インスタグラムも開始して、情報発信に努めました。

3) 動画作成講座に参加し、ボランティアの協力を得て、動画「WE ショップつづきってどんなショップ？」を作成し、SDGs 講座で活用するとともに、HP に掲載しました。

4) 生協パルシステム連合会、生活クラブつづきコモンズから取材を受け、それぞれの広報紙（「のんびる1・2月号」、「この指とまれ2月号」）に WE ショップつづきの活動が掲載されました。

5) セールのお知らせは、タウンニュースを利用して、お客様に周知を図りました。フェアトレードフェア、子ども服おさがり交換会、ACE 報告会、「希望へのいのち～吉沢正巳」上映と講演会については、タウンニュースに取り上げてもらいました。

センター南の地域情報発信サイト「ロコっち」に、ショップからの情報を載せてもらいました。

6) 都筑区民活動センター等への配架用チラシをこまめに作成し、ショップへの顧客拡大、ボランティア拡大につなげました。

7) 支援先の大きなパネルを作成し、ポスターや、キャンペーン、募金の結果を掲示して、チャリティショップとしてのショップをアピールしました。

【場所】 横浜市都筑区

【従事者】 運営委員5名 ボランティア 15名

【受益対象者】 一般市民

【事業支出額】 81,650 円

組織活動

1) 運営委員会

運営委員会は年度初めに年間の日程を決定して毎月開催しました。

コロナウイルス感染防止対策を取りながらも、今年度は対面での開催をすることが出来ました。

ショップ運営・組織活動等、全体的な活動については、年度当初に運営委員による役割分担、方針を決定し、円滑な運営をすることができました。コロナ感染状況の変化や不測の事態にも柔軟に対応し、協力し合いながら業務を遂行しました。会計、税務、法人運営の届け出等については、外部に委託しました。

2) 会員

今年度もコロナの感染が続いたため、会員拡大のための活動が十分にはできませんでした。会員には活動への理解、協力を深めてもらえるようニュース等の広報物の配布、支援先の情報掲示、SNSの活用などでショップ運営や支援活動のアピールを行いました。

認定NPO法人として活動や寄付メリットの周知に努めたことにより、正会員2名増、賛助会員増減なし、寄付者9名となりました。

正会員実績	27名	2020年度末	25名	2名増	(入会1名、賛助会員から移動1名)
賛助会員実績	11名	2020年度末	11名	増減なし	(入会2名、正会員へ移動1名、退会1名)
寄付者	9名				

3) ボランティア活動

今年度は、コロナの感染予防のため、ショップボランティアには積極的な活動の呼びかけができませんでしたが、動画の作成において、ボランティアの力を大いに発揮してもらえました。リメイクチームは、限られた活動の中で、意欲的に活動することができました。

4) WE21 ジャパングループとの連携

WE21 ジャパン・グループ会議に参加し、運営に役立てました。

5) 地域との連携

今年度も、中学校の職業体験、つづきMYプラザのハートdeボランティア企画は中止となりましたが、荏田南中学生からのWEショップへの質問に文書で回答しました。

つづき人交流フェスタ(都筑区主催)のパネル展示で参加し、活動を紹介しました。

都筑相談窓口におブザー参加し、相談事業や、活動情報を共有しました。フードドライブを都筑で進める、フードシェア*つづきの活動の情報を共有し、運営委員会でWEショップも参加していくこととし、より地域の連携が強まりました。相談窓口のパンフレットを店頭に置きました。

地域通貨「リーフ」を活用して、地域のボランティア活動を応援しました。

【場所】 横浜市都筑区

【従事者】 運営委員5名

【受益対象者】 一般市民

【事業支出額】 240,366円